



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2021年8月22日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



迫る

争いのない世界を 千玄室さん

22日(日)=1、3面

茶道裏千家の前家元、千玄室さん(98)＝写真＝は文化人として著名な方ですが、実は太平洋戦争の特攻隊で生き残った1人でもあります。

死が間近にあった体験から茶の精神を通して争

いのない世界の実現に人生を懸けています。千さんはこう語ります。

「仲間は何のために死んだのか。今も嫌な思いから逃れられない。お茶の精神で戦争をなくしたいのです」

特集 ワイド

「素顔の北朝鮮」撮る

23日(月)=夕刊特集ワイド

8月28日から全国順次公開される115分のドキュメンタリー「ちょっと北朝鮮まで行ってくるけん。」が話題を呼びそうです。

チラシの文句にはく姉が北朝鮮にいるなんて、誰にも言えなかった。朝鮮出身の男性と結婚し、

北朝鮮に渡った姉を探し求める旅の物語。

歴史の奔流にさらされた個人の運命を撮ってきたドキュメンタリー映像の監督、島田陽磨さん(45)＝写真＝が北朝鮮を舞台にした新作を語ってくれました。

東京パラリンピックの開会式が行われる国立競技場＝7月23日、本社ヘリから



賢い選択 がん和生活 25日(水)=くらしナビ面

インターネットや書籍などには「がんが食事で消えた」「奇跡のレシピ」といった、がんに対する効果を強調するかのよう食生活の情報が多くありません。

飛びついてしまいたくもなりますが、果たして

信頼できるものでしょうか。

確かな医療を賢く選ぶすべを紹介する連載「賢い選択」では、「がん和生活」をめぐる話題について3回取り上げます。初回は「食事とがんのリスク」についてです。



東京パラリンピック開幕

25日(水)＝1面、運動面など

新型コロナウイルスの感染拡大で1年延期されていた東京2020パラリンピックが8月24日に開幕し、9月5日まで熱戦が繰り広げられます。東京での開催は1964年大会以来2回目。同一都市での夏季パラリンピック

の2回目の開催は初めてとなります。8月24日夜には主会場の国立競技場(東京都新宿区)で開会式が開かれる予定です。共生社会促進に向けて、どんなメッセージが発信されるのか、詳しくお伝えします。

新毎日



週刊少年ジャンプで連載中の人気漫画『ワンピース』のコミックス100巻が9月3日に発売されます。毎日新聞社は集英社の編集協力のもと、作中に登場する「世界経済新聞」をモチーフにした「毎日世界経済新聞」を同日に発行します。登場人物の相関図やこれまでの軌跡など、長年のファンだけでなく、どなたでも楽しめる内容になっています。ご期待ください。(古谷 巨)

